

～原爆パネル展に伴う紙芝居の上演の御案内～

次世代に伝えたい紙芝居

被爆者が語る、被爆後の半生を紙芝居で表現

広島・長崎への原爆投下から79年が経とうとしています。

原爆パネル展の開催に伴い、原爆被爆者の体験を元にした紙芝居を下記のとおり上演いたします。朗読団体オリーブと、紙芝居による被爆体験継承に賛同した水戸市内の高校の生徒たちが、紙芝居の朗読に挑戦しますので御案内いたします。

目的	核戦争の悲惨さや原爆投下の歴史を風化させず、紙芝居や写真パネルの展示をとおして次の世代に伝えていくことを目的とする。
日時	令和6年8月9日(金) 12:15～12:50
場所	茨城県庁舎 2階 県政シアター
スケジュール	12:15～ 紙芝居上演「茂木貞夫物語」 詩の朗読
主催	茨城県原爆被爆者協議会、茨城県

※パネル展示期間: 令和6年8月6日(火)午後～8月16日(金)午前
(平日 8:30～17:00、休日10:00～17:00)

【本件に関するお問い合わせ先】

茨城県保健医療部疾病対策課難病対策グループ 担当:新山、野口(内線3284)
TEL:029-301-3214(直通) FAX029-301-3239